

令和元年度進行管理・評価シート
津和野町 歴史的風致維持向上計画（平成25年4月11日認定）
（最終変更 平成30年3月29日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 藩校養老館保存修理事業	3
2 津和野駅周辺整備事業	4
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の復旧(津和野城跡の石垣整備)	5
2 埋蔵文化財の取り扱い	6
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	7
⑥その他(効果等)(様式1-6)	8

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	9
-------------------------	-------	---

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
○事業推進のための体制整備 ○歴史的風致維持向上協議会の開催 ○津和野城山整備プロジェクトチーム(PT)の開催		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 庁内において、歴史まちづくり推進チームを設置して各課連携して事業を推進する。
 歴史的風致維持向上協議会を立ち上げ、計画変更や事業評価等に対応する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

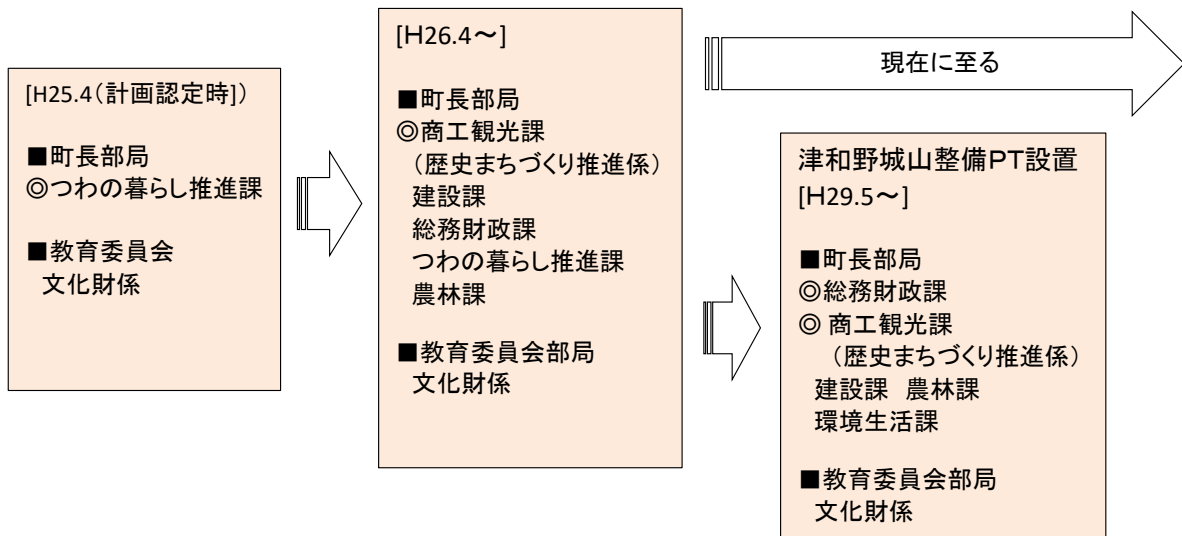
○歴史まちづくり推進チーム・・・関係各課と「都市再生整備計画事業」及び「集約促進景観・歴史的風致形成事業」についての事業進捗について随時協議を行うとともに、各事業の計画変更について協議を行った。
 ○協議会・・・令和元年度事業の進捗について報告し、意見を聴取した。進行管理・評価シートについて内容の協議を行い、修正を行った上で国へ提出した。
 ○津和野城山整備PT・・・関係各課、有識者による協議会を行い、整備構想に基づいて事業を進めた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 歴史まちづくり事業の推進には、これまでの体制を維持しながら進めているが、個別事業になると関係各課との連携が希薄になっている。課題を持ち寄って内部的に十分検討する機会を持ちたい。また、令和元年には津和野城山整備PTを設置したが情報共有が不足していた事例もあった。事業全体を統括これまでの取り組みを十分にいかし計画的に事業を進めるため、体制の充実、人材の確保・育成などが課題となる。

状況を示す写真や資料等

■歴史まちづくりへの全庁的な取り組み(事業担当の推移)



■歴史的風致維持向上協議会の開催

<第1回協議会(8/26)>

・JR津和野駅周辺整備事業



第1回協議会の様子(8/26)

<第2回協議会(書面決議)>

・令和元年度進捗評価事業評価について
 ・令和2年度事業について

評価軸②
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和元年度
	現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
都市計画と景観計画の普及・啓発		

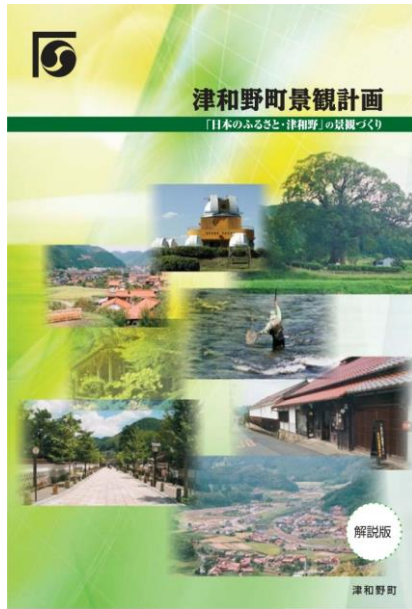
計画に記載している内容 都市計画については、住民等への都市計画の普及・啓発を図りながら、都市計画道路や公園緑地の整備などに取り組む。また、景観計画については、景観計画、景観条例を適正に運用するとともに景観地区や景観重要建造物、景観重要樹木等の指定を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 (景観計画)令和2年度 法16一届出(当初届出)58件、法16五通知(公共協議)5件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	町民等関係者に対する周知を継続的に実施する。なお、景観計画については、当初計画策定時(H24年4月)より年数が経過しているため、見直しの必要性を感じている。

状況を示す写真や資料等

■津和野町景観計画



☆住宅の建設、土地の開墾、木や竹の伐採等を行う場合には届出が必要となる場合がありますので、まずは役場へ事前相談を!!



主な届出の必要な行為	景観計画区域(津和野町全域)	景観形成地区(町が独自に指定する地区)
建築物(お住まいの住宅、店舗、農業用倉庫等)の新築、増改築、増築、外観の変更、色の変更、又は除去等	①高さが3mを超えるもの又は建築面積が1,000㎡を超えるもの	①高さが5mを超えるもの又は高さ10mを超えるもの ②高さが5mを超えるもの又は外観の重要な部分の面積の合計が10㎡を超えるもの
工作物(門、塀、橋、柵、金網、擁壁等)の新築、増改築、増築、外観の変更、色の変更、又は除去等	①門、塀、柵、金網等→高さが2mを超えるもの又は長さ5mを超えるもの ②擁壁→高さが2mを超えるもの	①門、塀、柵、金網等→高さが1.5mを超えるもの又は長さ5mを超えるもの ②擁壁→高さが1.5mを超えるもの
屋外における土石、農産物、再生資源、その他の物の堆積	①高さが5mを超えるもの又はその用途に供される土地の面積が1,000㎡を超えるもの	①高さが1.5mを超えるもの又はその用途に供される土地の面積が100㎡を超えるもの
土地の開墾、土石の採取、植物の採集その他の土地の形質の変更又は水取の掘削等	①面積が3,000㎡を超えるもの	①面積が1,000㎡を超えるもの
木や竹の伐採	①高さが10mを超える木や竹の伐採又は面積が3,000㎡を超える木や竹の伐採 ②森林保全法等を目的とするために必要な木の伐採で面積が3,000㎡を超えるもの	①高さが10mを超える木や竹の伐採又は高さ1.5mの高さにおける幹の面積が1㎡を超える木の伐採

【良好な景観形成を図る上で、大きな影響を及ぼさない一定規模以下の行為については、届出の適用除外となる行為があります。】



景観審議会

第1回 令和元年9月26日

第2回 令和2年3月書面決議

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
藩校養老館保存修理事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～31年度

支援事業名 街なみ環境整備事業、集約促進景観・歴史的風致形成推進事業

計画に記載している内容 藩校養老館について、柱等が全体的にシロアリ被害を受けるとともに、屋根瓦の割れなどにより雨漏りが発生しているため危険であり、保存修理を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年度: 実施設計業務(武道場)(街なみ環境整備事業)
 平成28年度: 実施設計が完了し、建築基準法第3条による摘要の除外を受けるため、島根県の建築審査会に諮った。12月に入札を実施し、平成30年6月までを工期として工事に着手した。(武道場)
 平成29年度: 解体調査の後の方針決定に時間がかかったことから工事期間を平成30年度末を目処に延長し、保存修理方針を定めて建物の組み立て工事を実施した。また、工事完了後の活用を図るため、「藩校養老館活用計画」の策定に着手した。(武道場)
 平成30年度: 年度内に完成させ、その後の活用を図るための整備を実施した。(武道場)
 御書物蔵および管理棟の実施設計をおこない、繰越し事業にて修理および活用整備をおこなった。(土蔵等)

進捗状況 ※計画年次との対応

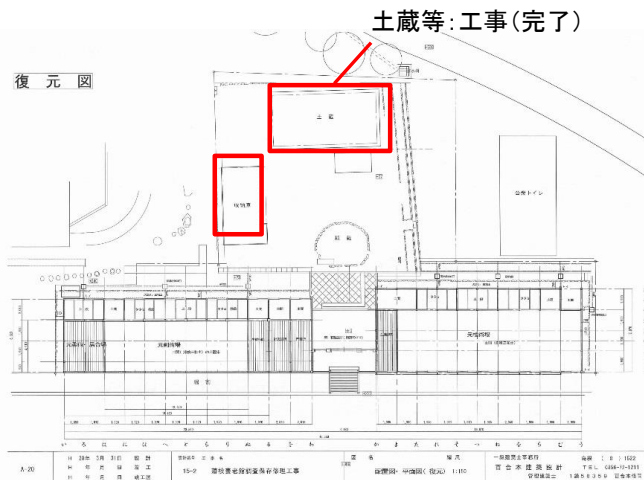
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

土蔵の有効な活用方法が課題であった。文化庁の文化財活用の補助事業を利用し整備を進めている。

状況を示す写真や資料等

■平成30年度(繰越)保存修理事業箇所



[事業年度]

- 平成27～28年度・・・実施設計業務(武道場)
- 平成28～30年度・・・保存修理工事(武道場)
- 平成30年度・・・保存修理・活用(整備)工事(武道場)
- 土蔵等実施設計
- 平成30年度繰越・・・土蔵等保存修理・活用(整備)工事



[事業前写真]



[御書物蔵完成写真:1/9撮影]



[屋内完成写真:12/23撮影]

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度 現在の状況
津和野駅周辺整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成29～令和3年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)

計画に記載している内容
 ○現在、駅の南側にある駐車場については、民俗芸能などに使う広場として整備を行う。
 ○奴行列などにおいては、歩道の整備・修景を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

駅横の駐車場(普通車42台(月極3台含む))の整備を行った。今後は、歩道の整備を行うが、利用者の利便性を考え屋根を付けるなど行う予定である。これにより、SL到着時の観光バス、路線バス、一般車両、観光客等の人車混在による事故の危険性を回避できる。なお、イベント等が開催可能な駅前広場への、平日の一般車両乗入れは住民の意見を尊重し改善した。また、駅舎の工事については、関係機関との協議等で時間を要していたが、令和2年度着工する。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景観条例に則り、周辺の一体感を出し、居心地の良い空間にする必要がある。

状況を示す写真や資料等



工事前 津和野駅駐車場



工事後 津和野駅駐車場



移動前 SL



移動後 SL



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度
	令和元年度

項目	現在の状況
文化財の復旧(津和野城跡の石垣整備)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 指定文化財については、必要性や緊急性、優先順位を検討しながら、歴史的真正性を損なうことなく、適切な修理及び整備を実施するとともに、住民の理解を得られるよう、公開する機会の確保、情報発信に努める。また、未指定・未登録文化財については、必要に応じてその保存対策を検討する。

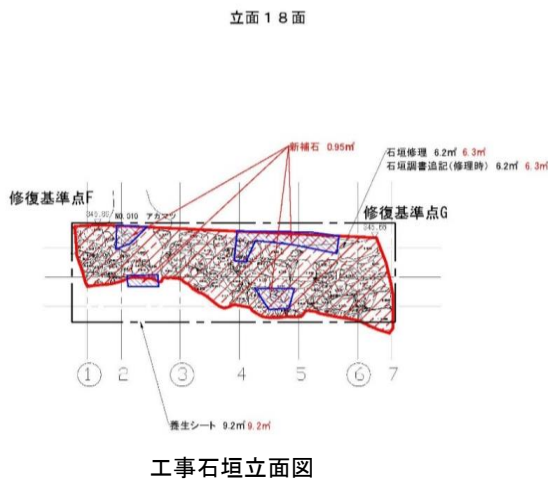
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年度に出丸石垣修理工事の実施設計をおこない、平成28年度より仮設作業道・仮設遊歩道などの設置工事を施工した後に、10・11面石垣の解体・石積工事に着手した。令和元年度は15～17面石垣の石積工事および18・19面石垣の解体・発掘調査・石積工事を実施した。事業に際しては、整備検討委員会の指導を受け適切に実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後、出丸石垣修理工事の終了後に、工事仮設道の撤去および出丸登城路工事をおこなう予定である。これにより、長期にわたって立ち入り制限してきた出丸の一般公開が再開されることになり、分かりやすい情報発信をおこなっていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

令和元年度保存修理事業箇所



[石垣石積作業写真:5/12撮影]



[石垣石積作業写真:5/14撮影]

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和元年度
----	--------	-------

埋蔵文化財の取り扱い		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
------------	--	--

計画に記載している内容 旧城下町一体においては城下町遺跡(近世)、大蔭遺跡(縄文～奈良・平安)、高田遺跡(縄文～近世)、喜時雨遺跡(旧石器、弥生～近世)などが「周知の埋蔵文化財包蔵地」として一体的に保護を図っている、こうした包蔵地内における開発については、関係機関や町内の連携体制に基づき、適切に保存を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域の全域が津和野城下町遺跡として周知の埋蔵文化財包蔵地(遺跡)になっていることから、道路河川整備や住宅の新築及び建替等の開発事業が計画された際は、文化財保護法に基づき埋蔵文化財の取扱いについて調整を行っている。調整の結果、やむなく埋蔵文化財に手が入る場合においては、遺跡の記録保存等に関する調査や行政指導を行っている。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	周知の埋蔵文化財包蔵地における開発については、事前に開発計画の把握が必要である。基本的には、開発する側の申請に基づいて計画を知るため、常日頃より埋蔵文化財包蔵地の取扱いについて住民または開発業者に対して広く周知を行っていく。
--	--

状況を示す写真や資料等



町雇用促進住宅建設に伴う発掘調査

撮影日: 令和元年9月



町雇用促進住宅建設に伴う発掘調査

撮影日: 令和元年9月



圃場整備事業に伴う発掘確認調査(堤田)

撮影日: 令和元年11月



圃場整備事業に伴う発掘確認調査(長福)

撮影日: 令和2年3月

評価軸⑤

効果・影響等に関する報道

		評価対象年度	令和元年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等	
(1)第32回 竜王戦津和野対局	令和元年11月	山陰中央新報社等	
(2)大地×文化のまち歩きモニターツアー	令和元年11月	山陰中央新報社等	

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点地区における歴史まちづくりに関する取り組みの成果として、上記を含め新聞報道、雑誌、テレビ等で紹介された。今後事業の進展による成果をさらにPRしていくこととしている。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input checked="" type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	県指定史跡である「養老館」が竣工し、イベントや会議で使用を始めた。その中で11月に開催された将棋の第32回竜王戦津和野対局は全国紙1面報道されるなど大きなイベントとなった。また日本遺産に関わるツアーやまち歩きのスタンプラリーなどを開催した。課題である宿泊者の増加につなげる、体験メニューの充実などにより滞在時間を延ばすための取り組みを様々な協議会等で連携を持ち充実させる必要がある。

状況を示す写真や資料等

著作権保護のため新聞記事は掲載しない

	評価対象年度	令和元年度
--	--------	-------

項目
歴史文化を生かした観光振興等による地域の活性化

計画に記載している内容 文化財の所有者や関係団体と連携し、文化財や歴史的風致の保存とあわせて、その価値や魅力を引き出すことを意図しながら、観光振興など地域の活性化にも生かしていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

津和野地域文化協会による文化祭の開催、日本遺産センターでの「大地×文化のまち歩き」などのイベントを開催した。また、石見神楽が日本遺産に認定され、津和野町日本遺産センターでも神楽の展示を行っている。観光客の増加の一因となっているものと推測される。国際交流員を迎えて2年目となりインバウンド対策が徐々にではあるが浸透してきている。飲食店でのメニュー表の作成など積極的に取り組む店舗が増えている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

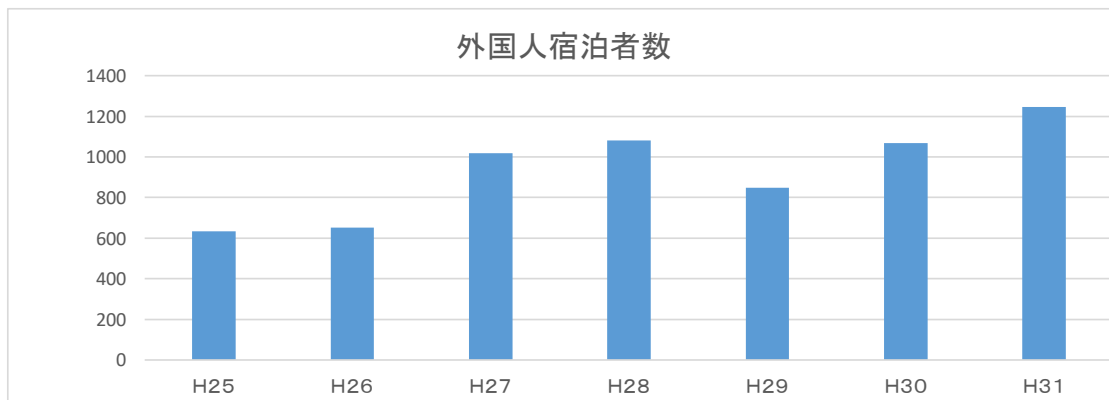
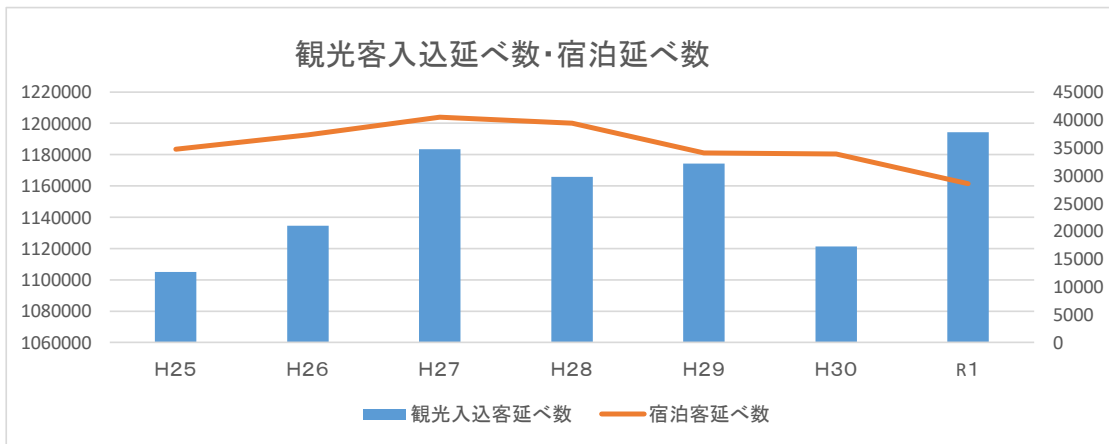
- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

日本遺産センターも5周年を迎え、イベントを企画し盛況を得ている。観光客の入込数はコロナウイルス感染症の影響による令和2年3月を除く11カ月連続で30年度より増加しているが、宿泊者数は旅館・ホテルの休業・廃業、労働不足による自主規制で宿泊可能総量が減少している。滞在時間の延長のため、体験プログラムの商品化など進める必要がある。

状況を示す写真や資料等



日本遺産センター主催 大地×文化のまち歩き 令和元年10月29日開催



評価対象年度	令和元年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時: 歴史的風致維持向上協議会: (第1回) 令和元年8月26日実施 (第2回) 令和2年8月実施	
(コメントの概要)	
<p>(第1回) 令和元年8月26日実施 協議会議題 1. 令和元年度事業について JR津和野駅周辺整備 ・駅前広場内への一般車両の進入(イベント開催時を除く。)については、身障者、高齢者の方の乗降を考慮し可とする。</p> <p><意見> 1. 令和元年度事業について ・交通安全対策に配慮したロータリーの使い方、分かり易い標識を付けること</p> <p>(第2回) 協議会議題 1. 事業の進捗評価について</p> <p><意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業全体については順調に執り行われていると思います。今後の実施に当たり、貴重な文化財を対象とする事業については、関係職員一人一人が関係法令の趣旨をよく理解いただき、法令を遵守の上実施するよう留意ください。 ・津和野駅整備について、関係各所とよく協議した上で早期の整備完了を希望します。 ・土蔵工事は完了されたが、今後の活用方法等が見えない。 ・駐車場の傾斜について冬季の凍結等が気がかりで、管理等の対策について検討が必要ではないかと感じている。 ・事業進捗の速度については多少遅れているものがあるが、おおむね評価できる。 ・当協議会における協議事項の範囲が不明瞭である。事業毎に明らかにすること。 	

(今後の対応方針)

交通安全対策に配慮したロータリーの使い方、分かり易い標識を付ける。

今後、文化財を対象とする事業の実施にあたっては、関係法令を遵守し進めて行くこととする。

駐車場については、冬季の凍結対策を十分とる。

養老館等利活用については、今以上に充実したいと考えており現在検討しているところである。

協議事項の範囲については、事業毎に整理し、協議会に諮ったうえ進めていくこととする。